

神奈川県がん対策推進計画の中間評価について

神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課がん・肝炎対策グループ

目次

- 1 がんの未病改善
- 2 がん医療の提供
- 3 がんとの共生

中間評価にあたって

- ・今回は、数値目標のある項目について、中間評価を行う。
- ・数値目標のない項目については、令和4年度の進行管理及び計画改定の検討の中で、振り返りを行うこととする。

1 がんの未病改善

(1) 1次予防

①未病を改善する取組みの推進

<栄養・食生活の改善>

目標項目	計画当初値	目標値	進捗状況(R3)	
①食塩摂取量 8 g 未満の人の割合：増	30.2%	56.0%	32.3%	目標 未達成
②野菜摂取量350g以上の人の割合：増	30.3%	45.0%	30.1%	
③生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(成人1日あたりの純アルコール摂取量：男性40g以上)の割合：減	15.4%	15.0%	18.4%	
④生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(成人1日あたりの純アルコール摂取量：女性20g以上)の割合：減	12.4%	7.0%	12.2%	

【分析・評価】

・すべて目標未達成であることから、普及啓発を更に推進する必要がある。

1 がんの未病改善

(1) 1次予防

①未病を改善する取組みの推進

<身体活動・運動量の増加>

目標項目		計画当初値	目標値	進捗状況(R3)		
成人の運動習慣者(1回30分、週2回以上の運動を1年以上継続している者)の割合:増	①	22.5%	39.0%	24.4%	目標未達成	
	②	24.5%	38.0%	28.7%		
	20~59歳 ①男性/②女性	③	51.6%	66.0%		49.2%
	60歳以上 ③男性/④女性	④	42.1%	50.0%		47.6%

【分析・評価】

・すべて目標未達成であることから、普及啓発等を更に推進する必要がある。

1 がんの未病改善

(1) 1次予防

①未病を改善する取組みの推進

<未病改善の取組みを支える環境づくり>

目標項目	計画当初値	目標値	進捗状況 (R1)	進捗状況 (R2)	進捗状況 (R3)	
・未病センター利用者数： 増 【グラントデザイン KPI】	353,717人	405,000人	491,630人	82,473人	106,617人	目標未達成

【分析・評価】

・コロナ禍の影響が大きいため、利用者数は減少し目標未達成であるが、未病の改善の取組につながる普及啓発等が必要である。

1 がんの未病改善

(1) 1次予防

②たばこ対策の推進

＜卒煙（禁煙）サポート・受動喫煙防止対策＞

目標項目	計画当初値	目標値	進捗状況(R3)	
成人喫煙率：減(男性)	26.9%	21.5%	27.4%	目標未達成
成人喫煙率：減(女性)	9.7%	4.4%	9.3%	
公共的施設内で受動喫煙を経験した人の割合：減	25.5%	9.8%	15.5% (H30)	

【分析・評価】

・すべて目標未達成であることから、普及啓発等を更に推進する必要がある。

1 がんの未病改善

(1) 1次予防

③感染症対策の推進

<肝炎対策の推進>

目標項目	計画当初値	目標値	進捗状況(R3)	
肝炎認知度:増	47.4%	57.4%	50.0%	目標未達成
ウイルス検査受検率:増	23.2%	33.2%	25.1%	

【分析・評価】

- ・いずれも依然として低く、更なる普及啓発が必要である。
- ・いずれも職域に対する普及啓発を更に推進する必要がある。
- ・肝炎認知度は市町村、検査受検率は肝疾患コーディネーターや関係機関との連携を強化する必要がある。

1 がんの未病改善

(1) 1次予防

③感染症対策の推進

<肝炎対策の推進>

目標項目	計画当初値	目標値	進捗状況(R3)	
肝炎認知度:増	47.4%	57.4%	50.0%	目標未達成
ウイルス検査受検率:増	23.2%	33.2%	25.1%	

【分析・評価】

- ・いずれも依然として低く、更なる普及啓発が必要である。
- ・いずれも職域に対する普及啓発を更に推進する必要がある。
- ・肝炎認知度は市町村、検査受検率は肝疾患コーディネーターや関係機関との連携を強化する必要がある。

1 がんの未病改善

(2) 2次予防

①がん検診の受診促進

目標項目	計画当初値	目標値	進捗状況 (R1)	全国 (R1)	
①胃がんのがん検診受診率：増	41.8%	50.0%	41.7%	48.8%	目標 未達成
②大腸がんのがん検診受診率：増	42.2%		43.5%	44.2%	
③肺がんのがん検診受診率：増	45.9%		47.9%	49.4%	
④乳がんのがん検診受診率：増	45.7%		47.8%	47.4%	
⑤子宮頸がんのがん検診受診率：増	44.6%		47.4%	43.7%	

【分析・評価】

- ・胃がん以外は延びてはいるが、いずれも目標には達していない。女性がん以外は全国と比較しても低い。
- ・職域の検診の実態はつかめていないが、市町村の受診率が低いことは判明している。
- ・県民全体への普及啓発とともに、まずは、市町村の受診率を上げることから取り組む必要がある。
- ・国の新計画では目標を50%から60%にUPしていることから、県の目標も上げるのか、検討する必要がある。

1 がんの未病改善

(2) 2次予防

精密検査の受診促進

目標項目	計画当初値	目標値	進捗状況(R1)	全国(R1)	
①胃がんの精密検査受診率：増	74.5%	90.0%	86.0%	84.1%	目標未達成
②大腸がんの精密検査受診率：増	61.7%		63.4%	69.8%	
③肺がんの精密検査受診率：増	77.7%		80.6%	83.0%	
④乳がんの精密検査受診率：増	84.9%		87.5%	89.2%	
⑤子宮頸がんの精密検査受診率：増	68.9%		79.5%	74.6%	

【分析・評価】

- ・5大がんすべて延びてはいるが、目標には達していない。特に大腸がんと子宮頸がんは低い。
- ・全国と比較すると、胃がんと子宮頸がん以外は、全国より下回っている。
- ・

1 がんの未病改善

(2) 2次予防

②がん検診の精度向上（集団検診）

目標項目	計画当初値	目標値	進捗状況 (R2)	全国 (R2)	
①市町村チェックリスト全項目実施割合 (胃がん)・・・X線のみ	58.0%	80.0%	67.8%	81.1%	目標未達成
②市町村チェックリスト全項目実施割合 (大腸がん)	59.2%		66.7%	80.8%	
③市町村チェックリスト全項目実施割合 (肺がん)	59.8%		66.7%	80.7%	
④市町村チェックリスト全項目実施割合 (乳がん)	57.4%		66.6%	81.5%	
⑤子市町村チェックリスト全項目実施割合 (子宮頸がん)	55.7%		65.9%	81.3%	

【分析・評価】

- ・すべて延びてはいるが、目標には到底及ばない。全国と比較してもあまりに差が大きい。
- ・市町村への働きかけを強化する必要がある。

1 がんの未病改善

(2) 2次予防

②がん検診の精度向上（個別検診）

目標項目	計画当初値	目標値	進捗状況 (R2)	全国 (R2)	
①市町村チェックリスト全項目実施割合 (胃がん)・・・上段：X線／下段：内視鏡	58.0%	80.0%	63.9%	70.1%	目標 未達成
			62.0%	73.7%	
②市町村チェックリスト全項目実施割合 (大腸がん)	59.2%	80.0%	66.1%	71.6%	
③市町村チェックリスト全項目実施割合 (肺がん)	59.8%	80.0%	66.7%	69.9%	
④市町村チェックリスト全項目実施割合 (乳がん)	57.4%	80.0%	66.6%	73.4%	
⑤子市町村チェックリスト全項目実施割合 (子宮頸がん)	55.7%	80.0%	65.9%	73.5%	

【分析・評価】

- ・すべて延びてはいるが、目標には到底及ばない。全国と比較してもあまりに差が大きい。
- ・市町村への働きかけを強化する必要がある。

2 がん医療の提供

(1) がん診療連携拠点病院等を中心としたがん医療提供体制

① 県立がんセンターにおける取組み <医療関係>

目標項目	計画当初値	目標値	進捗状況(R3)	
手術件数：増	3,365件	3,900件	3,658件	目標未達成
外来薬物療法件数：増	23,458件	26,000件	27,074件	目標達成
重粒子線治療件数：増	271件	820件	527件	目標未達成
リハビリテーション件数：増	26,644件	27,000件	21,649件	目標未達成
漢方サポートセンター外来患者数：増	3,528件	3,680件	4,939件	目標達成
治験等実施件数：増	158件	230件	233件	目標達成

【分析・評価】

・手術、重粒子線治療及びリハビリテーションの件数以外は目標達成できたが、そもそも目標内容が妥当だったかという問題があるため、今後検討が必要である。

2 がん医療の提供

(1) がん診療連携拠点病院等を中心としたがん医療提供体制

① 県立がんセンターにおける取組み <相談機能の充実>

目標項目	計画当初値	目標値	進捗状況(R1)	進捗状況(R2)	進捗状況(R3)	
がん相談件数：増	8,381件		8,034件	6,512件	6,549件	
アピアランスサポート件数：増	968件		1,169件	372件	337件	

【分析・評価】

・コロナ禍の影響が大きかったため、計画当初値より減少しているが、今後は件数が延びると思われる。

2 がん医療の提供

(1) がん診療連携拠点病院等を中心としたがん医療提供体制

②がん診療連携拠点病院等による集学的治療の提供等

目標項目	計画当初値	目標値	進捗状況 (R3)	
手術件数 (平均) : 増	1,018件	1,182件	1,094件	目標未達成
外来薬物療法件数 (平均) : 増	1,393件	1,540件	2,035件	目標達成
放射線治療件数 (平均) : 増	415件	527件	465件	目標未達成
リハビリテーション実施病院数 : 増 <がんのリハビリテーション>	23病院	32病院	27病院	
リンパ浮腫対応病院数 : 増 <支持療法の推進>	24病院	32病院	27病院	

【分析・評価】

・外来薬物療法件数以外は、目標達成できていないが、上3つは目標が妥当だったかという問題があるため、今後検討が必要である。

2 がん医療の提供

(1) がん診療連携拠点病院等を中心としたがん医療提供体制

⑧高齢者のがん対策

<病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修>

目標項目	計画当初値	目標値	進捗状況(R3)	
認知症対応力向上研修受講者数：	3,236人	6,800人	4,481人	目標未達成

【分析・評価】

・コロナ禍の影響で、目標値までには増えなかったが、1,000人以上は増えていることから、今後に期待できる。

3 がんとの共生

(1) 緩和ケアの推進

①緩和ケアの提供 ②緩和ケア人材の育成

目標項目	計画当初値	目標値	進捗状況(R3)	
二次保健医療圏における緩和ケア病棟整備済み医療圏数：増	8医療圏	9医療圏	9医療圏	目標達成
緩和ケア研修会受講率：増	85.1%	90.0%	80.1%	目標未達成

【分析・評価】

- ・緩和ケア病棟整備は目標達成できたが、今後は質の向上を目指す必要がある。
- ・緩和ケア研修会受講率は、コロナの影響で研修会開催数が減ったこともあり、目標を達成できなかった。今後はさらに拠点病院等以外の医療従事者の受講率上昇及び既受講者のフォローアップについて検討が必要である。

3 がんとの共生

(1) がん患者への支援

①相談支援 ②がん患者及びその家族に対する情報提供

③がん患者団体等との連携

目標項目	計画当初値	目標値	進捗状況(R3)	
ピアサポート実施医療圏数：増	8医療圏	9医療圏	7医療圏	目標未達成
県HP（「かながわのがん対策」）へのアクセス件数：増	10,965件	12,000件	9,098件	
県登録がん患者会数：増	21団体	32団体	30団体	

【分析・評価】

・ピアサポート実施医療件数の増加も必要だが、それ以前にピアサポーターの人材育成及び活用場所について検討する必要がある。

3 がんとの共生

(2) がん患者への支援

④就労を含めた社会的な問題

目標項目	計画当初値	目標値	進捗状況(R3)	
がん相談支援センターにおける社会保険労務士相談対応件数：増	125件	138件	134件	目標未達成
がん診療連携拠点病院等における妊孕性温存の対応（自院対応、他院紹介含む）件数：増	125件	147件	188件	目標達成
「こころの電話相談」対応件数：増	9,284件	9,300件	7,966件	目標未達成
ゲートキーパー養成人数：増	85,201人	132,701人	159,390人	目標達成

【分析・評価】

・妊孕性温存の対応、ゲートキーパー養成については目標達成できた。社労士相談は、コロナの影響で、定期相談を中止していたが、随時相談に変更して継続できたため、目標に近づけている。

3 がんとの共生

(3) がんに対する理解の促進

①がん教育の推進 ②がんに関する知識の普及啓発

目標項目	計画当初値	目標値	進捗状況 (R3)	
がん教育指導者研修受講者延べ人数：増	176人	600人	211人	目標未達成
メディア（県のたより、新聞、広報誌等）の利用回数：増	9回	10回	7回	
その他広告媒体（ツイッター、フェイスブック、カナフルTV、FMラジオ等）利用回数：増	5回	5回	4回	

【分析・評価】

・一つ目は目標未達成ではあるが、コロナ禍でもオンラインで開催しており、計画当初値よりは、受講者が増員していることは評価できる。今後は、外部講師の活用など目標項目の見直しも必要である。